

第10回アメリカ哲学フォーラム一般発表及び自主企画パネルの公募 及び「アメリカ哲学フォーラム賞&奨励賞」創設のお知らせ

2023年 5月 15日修正

みなさま

「アメリカ哲学フォーラム」の第10回大会を2023年11月3日（金・祝）・4日（土）に信州大学教育学部で開催する運びとなりましたので、下記の要領で一般発表及び自主企画パネルを募集いたします。奮ってご応募ください。なお、2020年度大会以降、コロナ禍のためオンライン形式での開催が続いておりましたが、今年度は対面形式を予定しております（現時点ではオンライン配信は行わない予定です）。

[1] 応募資格

アメリカ哲学フォーラムの会員であること。ただし応募時に会員でなくとも、入会申込書（書式自由。ご氏名、ご所属、関心のある分野を記載すること）を提出すれば、仮受領の形で受け付ける。入会申込書は、メールにてフォーラム事務局までお送りください（メールアドレスは下掲）。会費は、（年会費の徴収体制が整うまでの）当面のあいだ、対面での大会開催時に徴収する参加費（一般：4,000 円／学生・非常勤：2,000 円）をもって兼ねることとする。（ただし、大会に参加しない年度にも自主的な会費の振り込みをお願いするものとする。振込先はホームページを参照。）

[2] 発表内容

本フォーラムの設立趣旨である、「いわゆるプラグマティズムの系譜のみならず、アメリカにおける、またアメリカと関係のある多様な思想的潮流にも開かれた、広い意味での「アメリカ哲学」に関する学際的フォーラム」の趣旨に沿ったもの。発表時間は、一般発表の場合は40分（発表時間25分・質疑応答15分）、自主企画パネルの場合は1時間45分程度とし、司会はパネル参加者が担当する。

[3] 応募方法

2023年8月15（火）までに、(1)発表申込書と(2)概要の二つを、下記の学会事務局宛にメールの添付ファイルにて提出する。

- (1)「発表申込書」には、氏名・所属（自主企画パネル応募の場合は参加者全員のもの）、連絡先電話番号・メールアドレス（自主企画パネル応募の場合は、代表者のもの）及び発表タイトルを記載する。
- (2)「概要」には、氏名や所属等、応募者を特定できるような情報は記載せず、発表タイトルと概要のみを記載する。一般発表・自主企画パネルともに、使用言語は日本語か英語とし、一般発表の概要は、日本語の場合は1000字程度、英語の場合は250語程度とし、自主企画パネルの概要は、日本語の場合は2000字程度、英語の場合は500語程度とする。

[4] 審査

運営委員会にてブラインド・レビュー方式で審査・選考し、結果は2023年8月末日までに通知する。

[5] 「アメリカ哲学フォーラム賞」及び「奨励賞」の創設について

この度、「アメリカ哲学フォーラム賞」及び「アメリカ哲学フォーラム奨励賞」が創設されることとなりました。若手研究者向けの「フォーラム奨励賞」と、年齢不問の「フォーラム賞」の二部門で構成されます。受賞対象は、当フォーラムの年次大会で発表された論文（一般発表に加え、公募パネルや学会企画シンポジウムでの報告も含む）に基づくもので、かつ、『アメリカ哲学研究』に採択・掲載された論文（共著論文も含む）となります。

「奨励賞」の選考対象となることを望む応募者は、『アメリカ哲学研究』への投稿時点において40歳以下であることを条件とします。また、当フォーラムの編集委員会及び運営委員会のメンバーでも応募資格を有しますが、いずれかの賞の選考対象となることを望む場合は、選考委員会に加わらないものとします。

受賞者には、賞状ならびに副賞（10万円）が授与されます。選考は、当フォーラム編集委員会及び運営委員会で構成される選考委員会によって行われ、発表及び授与式は年次大会において行います。奮ってご応募ください。

以上

アメリカ哲学フォーラム事務局
americanphilosophyforum@gmail.com